

台風第19号の出水による真野ダムの洪水調節効果について

令和元年12月6日
相双建設事務所

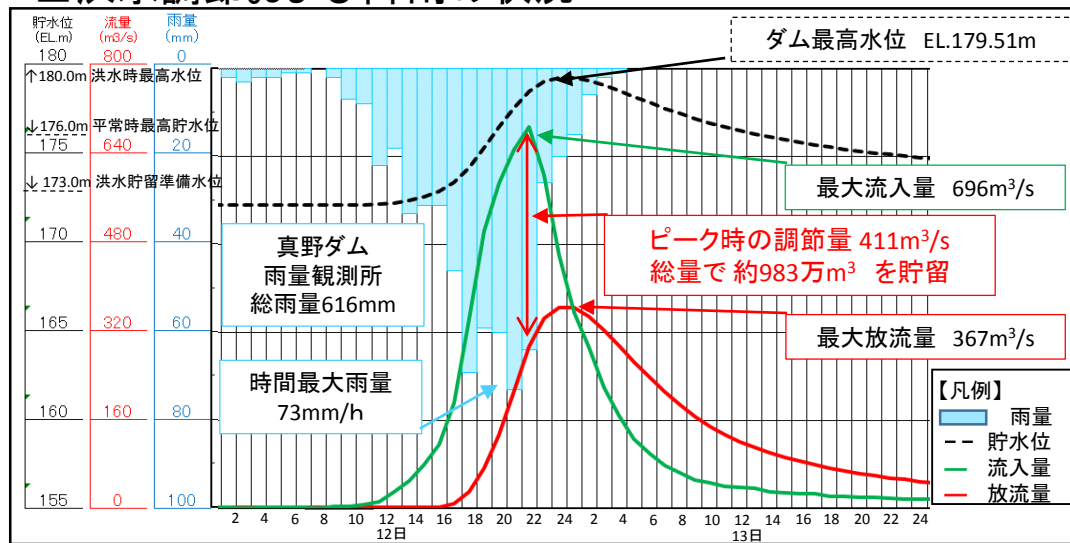
■ 台風第19号により10月11日から13日までの間、真野ダム(相馬郡飯館村大倉地内)に設置する雨量観測所で総雨量616mmを観測しました。この降雨に伴い、最大流入量 696m³/s、最大放流量 367m³/sに達し、総雨量、最大流入量および最大放流量ともに、平成4年度からのダム管理開始以降最大を記録しました。

■ **洪水調節**を行ったことで、下流の小島田堰水位観測所(南相馬市鹿島区鹿島地内)では、平成4年度からのダム管理開始以降最高の河川水位4.32mを観測しましたが、ダムがないときの最高水位は約5.7mと想定され、**水位を最大で約1.4m低下**することができました。

■ 位置図



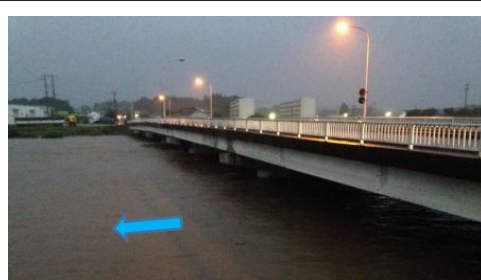
■ 洪水調節および降雨の状況



■ ダム諸元

河川名: 真野川水系真野川
形式: 重力式コンクリートダム
計画高水流量: 800m³/s
計画最大放流量: 420m³/s
調節方式: 自然調節方式
(洪水吐きにゲートを有しておらず、自然に洪水吐きから放流する方式)

■ 下流状況



桜田橋(小島田堰水位観測所より約600m下流)

■ 河川断面図(小島田堰水位観測所付近)

ダムがない場合、河川水位が最高で約5.7m(約1.4m上昇)となり、「はん濫危険水位」を超過、さらに堤防高まで約0.2mまで達したと想定されます。

